

イーストスプリング・インドネシア株式オープン 11月14日における基準価額の変動について

受益者向け資料
2016年11月15日

2016年11月14日、当社が運用する「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」の基準価額が前営業日比で5%を超える下落となりましたので、ご報告いたします。

ファンド名	11月14日 基準価額	11月11日 基準価額	前営業日比	騰落率
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	8,609円	9,152円	-543円	-5.93%

※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

【基準価額の下落要因となった主な市場の動き】

(ご参考) 株価指数	11月11日	11月10日	騰落幅	騰落率
ジャカルタ総合指数(現地通貨ベース)	5,231.971	5,450.306	-218.335	-4.01%
(ご参考) 為替レート	11月14日	11月11日	騰落幅	騰落率
インドネシアルピア(対円、100ルピア)	0.81円	0.82円	-0.01円	-1.22%

出所: 株価指数はBloomberg L.P.のデータ、為替レートは一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づく。
ジャカルタ総合指数は、ファンドの基準価額に使用した投資対象ファンドの価格に合わせ、前日の終値を使用。

基準価額下落の背景:

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで、リスク回避の動きが急激に強まる

11月8日の米国大統領選挙で共和党のドナルド・トランプ氏が予想外の勝利を収めました。トランプ氏の政策が新興国市場からの資本流出を引き起こすとの警戒感が広がり、11日の東南アジアの新興国市場は大きく下落しました。

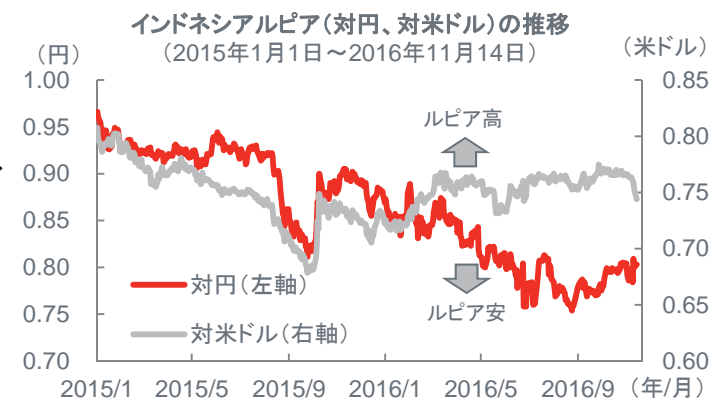
11日のインドネシアの金融市場は、株式、債券、為替のトリプル安となりました。対米ドルで通貨ルピアが大きく下落し、同国の中央銀行は市場安定化のために介入を行いました。ただし、円安米ドル高も進んだため、ルピア/円レートは小幅な下落となりました。

今後の見通し:

**短期的に市場の変動性が大きく高まる可能性
当面は市場を注視、ただし投資方針に変更なし**

トランプ次期大統領が、保護主義的な政策を推進するとの見方から、新興国の輸出が低迷するとの観測があります。以前と比較するとアジアでは域内の貿易が拡大し、米国を含む先進国市場への依存度は低下していますが、米国の貿易に関する政策変更によるアジア経済への影響に留意しています。

短期的にはリスク回避の動きから、市場の変動性が高まる可能性があります。当社では、市場が落ち着きを取り戻す過程において、今後もバリュエーションを重視したボトムアップアプローチの投資方針を維持し、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別して投資を行う所存です。



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。ジャカルタ総合指数は、インドネシア証券取引所が公表している指数です。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会